

「よみきかせの会☆星の子」全国表彰

「よ

みきかせの会☆星の子（鍛冶恵子代表）」が、公益社団法人読書推進運動協議会の第57回全国優良読書グループ表彰を受賞しました。

「よみきかせの会☆星の子」は昭和58（1983）年に結成され、現在は町内の小中学校のほか、公民館図書室やケアホーム春風などで読み聞かせを行っています。このたびは、読書運動の推進に尽くしてきたとして、北海道読書推進運動協議会の推薦により表彰されました。

11月26日、表彰状伝達式が役場で行われ、棚野孝夫町長から鍛冶代表に表彰状と副賞が授与されました。

鍛冶代表は「子どもたちと私たち、そして教育委員会が一体となってチーム星の子です。チームだから40年続けることができました」と振り返り、「私たちを待っている子どもたちがいますので、これからも楽しみながら活動を続けていきたいです」と抱負を語りました。

※関連記事を13頁に掲載しています。



【左から】星の子メンバーの春田修吾さん、金子祐子さん、鍛冶代表、神成富恵さん、田川ひとみさん。メンバーは他にも王克麗さんと田浦玲奈さん(庶路8年)がおり、7人で活動しています。

鍛冶恵子さん秋季善行表彰

日

本善行会主催の2024年度日本善行表彰で、鍛冶恵子さんが秋季善行表彰を受けました。

鍛冶さんは12月9日、鵜沼康有日本善行会釧根支部長や関係者とともに、棚野孝夫町長と川島眞澄教育長を表敬訪問しました。

鍛冶さんは「よみきかせの会☆星の子」の代表として読み聞かせの活動を行っているほか、同会のメンバーや商工会青年部、保護者と「しらぬか・ふるさと絵本の会」を構成し、ふるさと絵本「ぼく



はたいようのて」を制作し発行するなど、読書普及活動に務めました。

また、民生委員・児童委員や教育委員として、福祉や教育活動に尽力してきました。鍛冶さんは「受賞を一つの節目として、これからも星の子のメンバーとともに活動を続けていきたいです」と話していました。

（写真）日本善行会釧路支部やこれまでの善行表彰受賞者と表敬訪問した鍛冶さん。